

# 文教委員会報告資料

令和2年4月21日

報告事項名	頁
(教育指導部)	
(1) 令和元年度足立区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について……………	2
(2) 足立区教育振興ビジョンの策定について……………	4
(3) 【追加】区立小中学校休業期間中における家庭学習用教材の提供状況について…	6
(4) 令和2年度「足立区学力定着に関する総合調査」(足立区学力調査)の一斉実施の取りやめについて……………	8
(5) 「足立はばたき塾」に関する令和元年度塾生の進学状況について……………	10
(学校運営部)	
報告事項なし	
(子ども家庭部)	
報告事項なし	

( 教 育 委 員 会 )

# 文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和2年4月21日

件 名	令和元年度足立区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
所管部課名	教育指導部教育政策課
内 容	<p>1 目的 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、足立区教育委員会は自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を公表することで、区民への説明責任を果たすとともに、効果的な教育行政を推進することを目的としている。</p> <p>2 「令和元年度足立区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」の内容</p> <p>(1) 評価委員会による評価 区民を含む外部の評価委員が行政評価制度に基づき評価を行った。</p> <p>(2) 教育委員による評価 「体験活動施策」をテーマとして選定し、大学連携事業4事業及び青少年課主催事業1事業を教育委員が視察し、意見をいただいた。</p> <p>3 教育委員からの主な意見等</p> <p>(1) これらの事業が、子どもの発達や興味を持って取り組む意欲、感性、社会性を育むことに有効であることから、今後も充実させていくべきである。これらの差が学力の差として表れてくる。</p> <p>(2) 小中学校に出向く事業は、家庭環境に関係なく、その学校に通っていれば経験できるため、機会の均等につながっていく。ものづくりや体験事業でも応用を期待している。</p> <p>(3) 足立区全体の子ども達がなるべく多く、ジャンルを問わず色々なことに参加できるよう青少年課で工夫をする必要があるとともに、事業のすばらしさのPRが課題である。</p> <p>4 体験活動施策充実に向けた今後の方向性（主なもの）</p> <p>(1) 大学連携事業については、今後も各大学の協力を得ながら継続の方向で進めていく。事業内容については、各大学側の事情があるため要望をすべて受け入れて頂くことは難しいが、区の意向を伝えた上でより良い形になるよう協議を進めていく。</p> <p>(2) 「体験！1日大学生」については、参加が少なくなっているため、中学生の興味・関心を引き出せる内容や開催時期を検討する。また、周知方法等についても工夫を凝らしより多くの参加を促していく。</p> <p>(3) 青少年課としては、子ども達が体験の幅を広げられるよう、情報を</p>

	<p>集約し必要な情報を保護者に届けるために、チラシやSNS等様々なツールを活用し発信していく。</p> <p>5 対象事務事業の評価結果</p> <p>(1) 全体評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民評価委員会では、評価対象12事業中、前年比2事業で昨年度より高評価となり、3事業で評価が下がった。全般的には、平均値で5段階中約4.1となっており、概ね良好の評価を得た。</li> </ul> <p>(2) 個別評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>反映結果は2事業で良好(5段階中5)、9事業で概ね良好(5段階中4)と、事業改善の姿勢が評価された。</li> <li>達成度は2事業で良好、6事業で概ね良好、方向性は2事業で良好、9事業で概ね良好と評価された。ただし、「幼児教育推進事業・家庭教育推進事務」、「中学校の基礎学力対策事業」、「育英資金事業」、「待機児童解消の推進」では、目標の達成度に、「自然教室事業・体験学習推進事業」では方向性に改善の余地が残った。</li> </ul>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>区ホームページにて区民に公表する。</p>

# 文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和 2 年 4 月 2 1 日

件 名	足立区教育振興ビジョンの策定について
所管部課名	教育指導部教育政策課
内 容	<p>今後 5 年間の教育施策を示す計画である「足立区教育振興ビジョン」を下記のとおり、令和 2 年 3 月に新たに策定した。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 「足立区教育振興ビジョン」の策定          今後 5 年間に区の教育行政が取り組むべき施策・事業について、それぞれの現状・課題－解決方策（＝戦略－事業）の政策ロジックと成果指標・活動指標を示し、より効率的・効果的、かつ着実な成果をめざすため、別添 1 のとおり策定した。</p> <p>(1) 計画の対象          本計画の対象は、幼児期から義務教育期までの教育を中心とし、家庭、学校、地域で行われる教育に関する内容を対象範囲とした。</p> <p>(2) 計画の位置づけ・体系          ① 教育基本法に規定する「教育振興基本計画」として役割を果たすとともに、「足立区基本計画」の分野別計画の一つで、教育に係る計画の上位に位置づける。          ② 足立区教育大綱の基本理念（＝夢や希望を信じて生き抜く人づくり）の実現に向け、他の関連計画との連携を図りながら、本計画を推進する。          ③ 足立区基本計画の施策群のうち、「家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む」に分類されている 5 つの教育施策について、各施策を実現するための「戦略」と、戦略ごとに具体的な取り組みを示す構成で体系的に整理した。</p> <p>(3) 計画の期間          5 年間（令和 2 年度から令和 6 年度まで）</p> <p>(4) 計画の進行管理（P D C A サイクル）          進行管理は、毎年度の P D C A サイクル（①Plan（計画）－②Do（実行）－③Check（点検・評価）－④Act（見直し・改善））に基づいて行い、着実な事業展開を図る。</p> <p>(5) その他          「足立区教育振興ビジョン(案)」の策定にあたり、関係者（学識者、小・中学校の校長及び保護者、幼稚園・保育園の園長及び保護者）からご意見をいただき、反映させた。</p>

	<p>2 パブリックコメント</p> <p>(1) 実施期間 令和元年12月20日(金)～令和2年1月24日(金)</p> <p>(2) 意見提出者数 30名</p> <p>(3) 意見の件数 186件</p> <p>(4) 意見の提出方法 ア 区のホームページの意見受付フォーム 9名 ※担当課への電子メールを含む イ 郵送 3名 ウ FAX 18名</p> <p>(5) 意見の概要及び区の考え方 別添2のとおり</p> <p>(6) 足立区教育振興ビジョンへの反映 ア 反映件数 8件 イ 内容 &lt;別添2の該当番号&gt; ① ICT教育について、2つの活動指標(「子どもたちのICT活用」と「プログラミング教育」)を新たに追加 &lt;No.35、36&gt; ② ICT教育における教員研修の具体的内容の追記 &lt;No.37&gt; ③ 外国語活動アドバイザーの要件および増員予定数の追記 &lt;No.61&gt; ④ 足立はばたき塾の記載内容のうち、「より高いレベルの志望校にチャレンジする」の文言が「高校のランク化、差別化を煽る」との指摘を受け、「将来の夢を実現するために志望校の受験に挑む」に修正 &lt;No.68&gt; ⑤ 新学習指導要領の実施の記載内容のうち、子どもたちへの効果的な指導の実践事例を提示するという趣旨のため、「周知・徹底を図る」から、「徹底」の文言を削除 &lt;No.79&gt; ⑥ 教育大綱の柱のひとつである「貧困の連鎖を断ち切る教育」の実現に向け、第1章、施策2・4・5に子どもの貧困対策を示す内容の追記 &lt;No.174、175&gt;</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>・「足立区教育振興ビジョン」冊子を関係者および関係機関へ配付するとともに、ホームページ掲載等による周知を実施し、本計画を推進していく。</p>

文教委員会報告資料

令和2年4月21日

件名	【追加】区立小中学校休業期間中における家庭学習用教材の提供状況について
所管課名	教育指導部 教育政策課、学力定着推進課、英語教育推進担当課、教育指導課、就学前教育推進課
内容	<p>1 小中学校から（令和2年4月17日現在）</p> <p>（1）小学校（69校中）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書配付済 68校</li> <li>※4月24日までに全校完了予定</li> <li>・学習用プリント等配付済 69校</li> <li>・学校ホームページに情報掲載 47校</li> </ul> <p>（2）中学校（35校中）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書配付済 34校</li> <li>※4月24日までに全校完了予定</li> <li>・学習用プリント等配付済 35校</li> <li>・学校ホームページに情報掲載 24校</li> </ul> <p>（3）民間コンテンツの配信・提供</p> <p>5月10日までの間、民間の有料コンテンツ「EduMail（エデュメール）」を各校のホームページを通じて無料で配信・提供。</p> <p>2 教育委員会から</p> <p>以下を区ホームページ「足立区家庭学習支援サイト」に掲載。</p> <p>（1）基本的な家庭学習用教材の提供</p> <p>① 令和2年3月実施予定だった単元の学習教材（一部区独自）</p> <p>対象：新中学2～3年生</p> <p>数学：NPOが無料で提供している映像授業の活用と、定着のための確認問題の提供。</p> <p>英語：教科書会社が提供している音声データの活用と、教科書に基づく学習プログラム、定着のための確認問題の提供。</p> <p>※ 順次今年用の教材も作成していく。</p> <p>② 区独自教材「次へのステップ」（前学年の復習用として活用）</p> <p>対象：新小学4～新中学3年生</p> <p>教科：小学生＝算数、中学生＝数学・英語</p>

	<p>③ 東京ベーシックドリル（前学年の復習用として活用）  対象：新小学2～新中学2年生  教科：小学生＝国語・算数 1～6年生用  中学生＝国語・数学・英語 1年生用</p> <p>(2) 家庭学習等の関連情報の提供</p> <p>① 教科書出版社による支援情報へのリンク  昨年度使用教科書の発行会社による、本年3月履修予定分の振り返り教材情報の提供。</p> <p>② 東京都教育委員会「学びの支援サイト」へのリンク  ・東京ベーシックドリル掲載  ・東京都学力調査問題掲載  ・文部科学省サイト「子供の学び応援サイト」へのリンク  ・経済産業省サイト「学びをとめない未来の教室」へのリンク</p> <p>③ NHK「NHK for School」へのリンク  学習用動画のクリップ集。単元ごとの授業支援を掲載。</p> <p>(3) 新小学1年生の家庭向け情報提供  あだち幼保小接続期カリキュラム家庭版を掲載。  学校再開時に円滑に学校生活に移行できるよう、家庭で心がけてほしい10の取り組みを案内。</p>
問題点 今後の方針	休業の延長に備え、内容のさらなる充実を検討・準備していく。

# 文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和2年4月21日

件 名	令和2年度「足立区学力定着に関する総合調査」（足立区学力調査）の一斉実施の取りやめについて
所 管 部 課 名	教育指導部学力定着推進課
内 容	<p>令和2年4月10日（金）に予定されていた「足立区学力定着に関する総合調査」（足立区学力調査）について、新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響を踏まえ、以下のとおり取り扱う。</p> <p>1 一斉実施の取りやめについて</p> <p>臨時休業措置による児童・生徒への影響に配慮し、学校運営の正常化に向けた取組みを最優先とすることから、一斉実施を取りやめる。</p> <p>2 調査問題の各校での活用について</p> <p>家庭での学習状況など臨時休業による影響を把握するために、学習確認テストとして、各校で調査問題を活用する。</p> <p>(1) 目的</p> <p>臨時休業措置に伴う履修内容の未定着部分を発見し、補習等につなげていくことを目的とする。</p> <p>(2) 活用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各校が自校の実態に応じて、実施可能な日に実施する。</li> <li>・ 学年ごとに異なる日に行うことも可とする等無理のない範囲で行う。</li> </ul> <p>(3) 留意事項</p> <p>学校運営の正常化を最優先とし、調査の実施が過度な負担とならないよう最大限配慮することから、少なくとも以下の条件が整うまでは、調査問題の活用は行わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童・生徒の不安を取り除き、心のケアを十分に行っていること。</li> <li>・ 児童・生徒の出席状況が良好であること。</li> <li>・ 授業が再開するとともに、児童・生徒が安定した学校生活を過ごしていること。</li> </ul> <p>3 結果の活用について</p> <p>(1) 事業者から提供される分析結果や帳票等は学校内で有効に活用する。</p> <p>(2) 学校ごとのデータは学校内での活用にとどめ、公表は行わない。</p>

問 題 点 今 後 の 方 針	小・中学校及び事業者と関連スケジュールを再調整した上で適切かつ円滑な実施に努めていく。
--------------------	---

文教委員会報告資料

令和2年4月21日

件名	「足立はばたき塾」に関する令和元年度塾生の進学状況について									
所管部課名	教育指導部学力定着推進課									
内容	1 令和元年度足立はばたき塾生の進学先について									
	(1) 進学先一覧 (人)									
		進学指導重点校等※1			小計	都立 中高 一貫校	国立	その他 都立・ 私立	難関 私立	総計
	進学先 年度	進学指導 重点校	進学指導 特別推進校	進学指導 推進校						
	R1	4 (4.6%) [受験者 7]	8 (9.2%) [受験者 8]	33 (37.9%) [受験者 37]	45 (51.7%) [受験者 52]	3 (3.4%) [受験者 3]	1 (1.1%) [受験者 1]	38 (43.7%)	4	87
	H30	3 (3.6%) [受験者 4]	9 (10.7%) [受験者 12]	21 (25.0%) [受験者 36]	33 (39.3%) [受験者 52]	5 (6.0%) [受験者 5]	1 (1.2%) [受験者 1]	45 (53.6%)	2	84
	H29	4 (4.4%) [受験者 5]	8 (8.8%) [受験者 14]	27 (29.7%) [受験者 33]	39 (42.9%) [受験者 52]	3 (3.3%) [受験者 3]	0 (0.0%) [受験者 0]	49 (53.8%)	1	91
	H28	0 (0.0%) [受験者 2]	2 (2.7%) [受験者 2]	24 (32.9%) [受験者 29]	26 (35.6%) [受験者 33]	2 (2.7%) [受験者 2]	1 (1.4%) [受験者 2]	44 (60.3%)	3	73
	H27	1 (1.1%) [受験者 4]	3 (3.2%) [受験者 5]	23 (24.7%) [受験者 32]	27 (29.0%) [受験者 41]	1 (1.1%) [受験者 1]	0 (0.0%) [受験者 0]	65 (69.9%)	2	93
	H26 ※2	4 (4.4%)	1 (1.1%)	30 (33.3%)	35 (38.9%)	3 (3.3%)	1 (1.1%)	51 (56.7%)	2	90
H25 ※2	6 (8.1%)	5 (6.8%)	19 (25.7%)	30 (40.5%)	2 (2.7%)	0 (0.0%)	42 (56.8%)	2	74	
H24 ※2	5 (5.0%)	1 (1.0%)	31 (31.0%)	37 (37.0%)	6 (6.0%)	0 (0.0%)	57 (57.0%)	0	100	
※1:生徒の進学希望を実現させることができる都立高校として都教育委員会が指定 全 186 校中、進学指導重点校 7 校、進学指導特別推進校 7 校、進学指導推進校 13 校 ※2:26 年度以前の受験者数は未調査										

(2) 進学先の志望順位 (人)

順位 年度	第一志望	第二志望	その他	全体
R1	74(85.1%)	10(11.5%)	3(3.4%)	87
H30	57(67.9%)	17(20.2%)	10(11.9%)	84
H29	66(72.5%)	20(22.0%)	5(6.6%)	91
H28	45(67.2%)	15(22.4%)	6(9.0%)	67

注1：( )内は受講者全体における志望校合格達成者の割合

注2：28年度は、参加者73人中アンケートに回答のあった67人の生徒の志望校順位から算出。また、27年度以前は未調査。

問題点  
今後の方針

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度の入塾審査として実施する学力診断テストを延期している。令和2年度の開講に向けて日程を再調整し、学力診断テストを実施して入塾者を決定する。